

1月給食だより



早寝 早起 朝ごはん
「早寝早起朝ごはん」
運動シンボルマーク

新しい年になりました。いよいよ3学期です。今年1年も子供たちが毎日元気いっぱいにご飯を食べて、安全安心でおいしい給食を作っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

1月24日から30日は全国学校給食週間です。子供たちの体と心の成長を支えている給食について考えてみましょう。

学校給食週間とは？

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて理解と関心を高め、より一層の充実をはかることを目的として定められました。

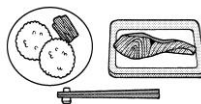
学校給食は、戦争により中断していましたが、アメリカのLARA（アジア救済公認団体）等の物資援助で再開されました。

昭和21年12月24日に給食物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」と定め、後に冬休みと重ならない1か月後の1月24日～30日が「全国学校給食週間」となりました。



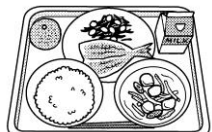
知っていますか？ 学校給食の始まり

学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校で家が貧しい子供たちへ、無償で昼食を出したのが始まりといわれています。当時の献立は塩さけ、おにぎり、漬物などが出されたといわれます。



給食はおいしい生きた教材

学校給食は、栄養バランスのとれた献立で子供たちの心身の成長を支えるだけでなく、体に必要な栄養素や、バランスのとれた食生活の大切さや、感謝の心などを学ぶことができる「生きた教材」です。おいしい給食を食べてしっかりと学んでほしいと思っております。



【今月の献立より】

10日(木) 七草献立

せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな（かぶ）、すずしろ（大根）を春の七草といいます。

1月7日の朝に春の七草の入ったおかゆを食べる風習を七草といいます。七草がゆはその一年の無病息災を願って食べられます。給食では、せり、なずな（かぶ）、すずしろ（大根）の入ったみそ味のうどんを出します。



11日(金) 鏡開き献立

1月11日は鏡開きの日です。この日には、正月の間に年神さまに供えていた鏡もちをおろして小さく割り、調理して食べます。この時、もちは刃物を使わずに木づちなどで割ります。これは、鏡開きの行事が武家社会の風習であったことから「切る」ことを避けるためです。給食では白玉を入れた雑煮を作ります。

24日(木)～30日(水) 全国学校給食週間

練馬大根たくあんを使った「練馬大根たくあんごはん」や昭和27年ごろよく食べられていたくじら肉を使った「くじらの竜田揚げ」を給食に出します。1年生は初めてのくじら肉かもしれません。どんな味がするのか？どんな食感がするのか？楽しみにしてほしいです。

* 保護者の皆さまへ *

学校給食費の徴収についてのお知らせです。

未納のある方は、1月18日(金)が30年度の最終の再引き落とし日です。必ず期日(口座振替の前日)までに指定口座への入金をお願いします。

《御注意》

給食費は、給食の食材費のみに使用されています。給食費の未納が続きますと、教育活動に支障が生じます。なお、未納の場合、状況に応じて練馬区の方針により必要な法的措置を執る場合があります。